

事務局 だより

○第50回定時総会開催

令和6年2月20日(火)午後3時から、横浜市中区山下町の「ホテル ニューグランドレインボールルーム」で第50回定時総会を開催しました。

総会は、議決権を有する81会員のうち77会員(本人出席18会員、委任状または書面表決書の提出59会員)が出席し、中丸裕嗣理事(有)ナカマル商会)の司会により定刻に始まりました。

冒頭、原島利光会長による挨拶があり、続いて、来賓としてお越しいただいた神奈川県環境農政局農水産部畜産課の小菅知之課長、横浜市医療局健康安全部生活衛生課の池田進課長及び川崎市健康福祉局保健医療政策部生活衛生係の田野口みずほ係長の皆様からご挨拶をいただきました。

その後司会者が定款第16条の規定に基づいて総会議長の選任について諮ったところ、司会者一任の声があり、司会者より大曾根一喜氏((株)アルファ住宅)が議長に指名されました。



(第50回定時総会風景)

以後、大曾根議長の議事進行により議事に入り、第1号議案の「令和5年度計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の承認」と報告事項の「令和5年度事業報告」について一括して事務局長から総会資料に基づき説明があり、引き続き高橋良一監事から監事監査の結果

について報告の後、これらを一括審議したところ、質疑、意見ともになく、全会一致をもって第1号議案が承認されました。

引き続き第2号議案「理事及び監事の選任」についての審議に先立ち、事務局長から「理事候補者及び監事候補者についての選考経過と理事会における選考結果が承認され、以下に掲げる10名の理事候補者及び2名の監事候補者の選任を求める」議案の説明がありました。

あわせて、監事2名の選任については、あらかじめ前任の監事から定款22条第2項に定める同意を得ている旨の説明がありました。

その後、選任の可否を問うたところ、以下記載のいずれの候補者も全会一致で可決選任されました。

理事	原島 利光 氏
	大友 忠男 氏
	中丸 裕嗣 氏
	大曾根一喜 氏
	佐藤つかさ 氏
	中島 周治 氏
	田中 孝明 氏
	重岡 雅也 氏
	金子 智宏 氏
	山口 弘 氏
監事	高橋 良一 氏
	三角 秀行 氏

なお、新役員の任期は令和8年度開催の定時総会終了の時までとなります。

議長は、他に議案がないことを確認し、「その他」として田中孝明総務委員会委員長からご利用者様の利便性や満足度向上などを目指して「ご利用者様へのアンケート」を実施することを発表した後、午後3時20分閉会を宣言しました。

その後、「ホテル ニューグランドパームルー

ム」にて臨時理事会が開催され、以下の新三役が選出されました。

会 長	原島 利光 氏
副 会 長	大友 忠男 氏
副 会 長	中丸 裕嗣 氏
常務理事	大曾根一喜 氏

臨時理事会終了後、午後3時40分から「レインボーボールルーム」において総会に出席した関係者の皆様に臨時理事会の結果が報告され、原島利光新会長から新役員の紹介と挨拶がありました。



(定時総会出席者に新役員を紹介)

そのあと、引き続き協会の発展にご尽力いただき、理事を勇退されました山口健次郎様に原島会長から感謝状が贈呈されました。



(山口健次郎様への感謝状贈呈風景)

その後、大曾根議長は他に議案がないことを確認のうえ、総会の閉会を宣言し、解散しました。

なお、監事を勇退されました芝生幸夫様には、後日、原島会長が事業所まで伺い、感謝状を贈呈されました。



(芝生幸夫様への感謝状贈呈風景)

定時総会後には、経営環境改善研修会の講師として、大阪ガスケミカル(株)の村上育子氏をお招きし、「私が考えるTCO・PCO業界において、採用成功のために必要なポイントは何か？」についてご講演いただきました。



(村上育子氏を招いての講演会)

○令和6年度会務の概況

(他の頁で紹介されていない会務の概況をご報告します。)

◎公衆衛生予防事業(主な受託事業)

○横浜市中区内の重点地区におけるネズミ駆除事業

この事業は、横浜市中区の委託に基づき、重点地区のねずみ防除を実施したものです。域内を前年の10地区から11地区に増やし、感染症予防衛生隊登録会員16会員があたり、作業は令和6年1月22日から同年2月19日まで

の間に5日間行われました。



(横浜市中福祉保健センター職員も交えて打ち合わせを実施)



(駐車場で資材を受け取り)



(毒餌を設置)

○スズメバチ駆除等各種受託事業

(横浜市・川崎市)

この業務は、特定の条件を満たした場合には、横浜市、川崎市からの委託に基づき実施したものです。

令和6年度の実績は、横浜市8件、川崎市2件でした。

○死亡野鳥回収業務受託事業

この事業は、死亡野鳥を神奈川県からの指

示に基づき安全かつ円滑に県へ引き渡すことで、高病原性鳥インフルエンザウイルスの県内への侵入を早期に発見することを目的として、県と業務受託契約を結んだものです。

令和6年度の実績は、4件11羽でした。

○横浜港ふ頭におけるヒアリ類不存在確認調査事業

この事業は、環境省からの依頼により、公益社団法人日本ペストコントロール協会を通じて行ったもので、港湾管理者と調整のうえ、ターミナル業務に支障が生じないように、早朝に調査を行いました。

◎令和6年度害虫相談事業の概要

当協会の主要事業の一つである電話による相談事業の令和6年における受付件数は10,425件で、前年度と比較して1,054件の増加となり、昭和51年度の電話相談開設以来最高件数だった令和5年度をさらに上回る件数となりました。

ハチの相談の多い7月から9月にかけては、一日に100件以上の相談を受ける日もありました。

電話相談件数の推移

()内は構成比で%

種類	6年	5年	4年	3年
ハチ	3,925 (37.6)	3,876 (41.4)	4,515 (50.0)	3,719 (47.6)
ネズミ	3,610 (34.6)	2,702 (28.8)	2,153 (23.9)	1,759 (22.5)
鳥類	865 (8.3)	782 (8.3)	730 (8.1)	706 (9.0)
獣類	890 (8.5)	856 (9.1)	629 (7.0)	552 (7.1)
シロアリ	211 (2.0)	209 (2.2)	194 (2.2)	181 (2.3)
新型コロナ 消毒	— (0.0)	— (0.0)	37 (0.4)	161 (2.1)
トコジラミ	209 (2.0)	216 (2.3)	147 (1.6)	120 (1.5)
その他	715 (6.9)	730 (7.8)	609 (6.8)	622 (7.9)
合計	10,425 (100)	9,371 (100)	9,014 (100)	7,820 (100)

害虫種類別で最も多かったのは例年通りハチで、件数は3,925件と前年度より49件増加。次いでネズミの3,610件で前年度より908件の増加となり、ハチとネズミで相談件数の72.2%を占めています。

以下鳥類865件（ハト272件・カラス92件・コウモリなど501件）、ハクビシン・アライグマなどの獣類は890件、シロアリとトコジラミの件数は200件強でした。

新型コロナ消毒は新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことなどから、0件という状況が続いています。



(電話相談の様子:ピーク時には3本の電話すべてが塞がることも)

◎協会図書の貸出

事務局では会員の皆様に専門図書等の貸出を行っております。

業務上、昆虫の生態や環境に興味をお持ちの方、また、顧客から頼まれた不明虫についての調べもの等には是非、協会図書をご利用下



(協会事務局にある書架)



(令和6年度に購入した図書)

さい。

アリ、クモ、ゴキブリ、ダニ、ネズミ、ハチ、蚊、虫、昆虫、農薬、家屋害虫、毒害虫、甲虫、動物、樹木害虫、食品害虫、細菌、生態学、標本、辞書、分類学、図鑑、雑学その他の図書が450冊以上配架されています。

貸出期間は貸出日より2週間です。

郵送による貸し出しもできますので必要な方は協会事務局までご連絡ください。

図書目録は協会ホームページよりご参照できます。また本の購入等ご希望がありましたら協会までお聞かせください。